

## 第2回 高校改革フォローアップ委員会関係校協議会（要旨）

期 日 平成26年8月27日（水） 16:15～:17:20

参加校 農業系学科設置校等 10校 三重総合、三重総合久住校、宇佐産業科学、国東、  
日出暘谷・日出総合、大分東、佐伯鶴岡・佐伯豊南、  
玖珠農業、日田林工、玖珠地域新設高校開校準備室

### ① 地域の小・中学校等との交流及び学校PRについて

#### 【取組事例】

- ・中学校に対し、花の植え付け指導等の農業体験学習による積極的な交流を進めている。
- ・JR駅や市役所等、地域への草花装飾を実施している。生徒アンケート結果の7～8割に、地域に貢献できたとの回答が出されている。
- ・学校ホームページはできるだけ更新するように努めている。
- ・中学校ごとの担当教員を決めることにより、中学校側との結びつきを強めることができている。
- ・教育庁チャンネル（YouTube）に牛の出産シーンをアップするなど感動を呼ぶような内容のPRを進めている。

#### 【今後の取組】

- ・報道機関には行事の情報を積極的に提供し、取材を促したい。
- ・今後も情報発信に力を入れたい。

- ・メディア各社と日頃からつながりを持つことが大切。
- ・生徒を主体としたPRにも今後力を入れて頂きたい。

### ② 農業系高校（学科）と振興局等との連携について

#### 【取組事例】

- ・連携会は、開催事務局を振興局と交代で行っており、継続性のため有効である。
- ・連携会では、地元農家見学、情報交換のほか、担い手の育成や市が積極的に進める六次産業化などについて議論をしており、今後更に交流を深めたい。
- ・学校側からは、生徒が地元に残れるような進路先を確保するため、農業法人の誘致をお願いした。
- ・振興局から、生徒に地元の優良経営農家を紹介するバスツアーを開催したいとの提案があった。
- ・担当レベルでは、技術支援を中心とした連携を取っている。
- ・細かな管理が困難な遠隔地圃場の管理手法について、振興局から意見を頂いている。
- ・生徒が、農業クラブ県大会での意見発表原稿を書くために、振興局から先進農家を紹介して頂き、良い成果を収めることができた。

#### 【意見・課題】

- ・学校側は、若い教職員に対し専門的な知識や不足している技術を、振興局等に支援して欲しいといったニーズを持っている。
- ・学校側に農業大学校勤務経験者がいれば農林水産部との連携は取りやすいが、そうでない場合は十分な連携が取りにくい。
- ・連携会のメリットとしては、組織的な取組ができることである。また、継続することが大切であるので、学校側から積極的に連携を持ちかける必要がある。

- ・学校・振興局とも、連携が必要であると認識している。
- ・地域の担い手育成等、共通のテーマのもと、組織的・継続的な連携を進めて頂きたい。

### ③ まとめ

- ・人と人とのつながりがスタートだと思うので、ぜひ一度振興局に行って頂きたい。  
8月20日の連携会では、学校側からも振興局に具体的な提案をして頂きたいという前向きな話が出された。継続的な連携につながると思うので、ぜひ声をかけて頂きたい。
- ・地域にある学校のメリットを出して行って欲しい。
- ・生徒の「学校や授業が楽しい。」という声が、地元に対して最大のPRとなる。生徒にとって楽しく有意義な授業が行われているかという視点で授業を行って頂くことが、学校の活性化や、地域に根ざした学校になる取組になる。
- ・10校がまとまりPRを行うと、相乗効果でPR効果を高めることができると思われる。  
2学期は、各校とも積極的な情報発信をお願いしたい。